

福祉のかけ橋

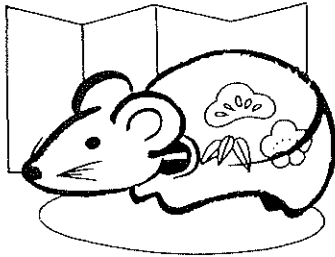
井波町南山見地区社会福祉協議会

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立て賜り
有難うございました

本年も何卒よろしく御禮申し上げます

平成11年元旦



長寿万歳

院瀬見 武田久太郎

一九〇〇年生

卒寿まで長生きさせて頂けた事は大変長いのですが、あっと言う間に過ぎ去って行きました。光陰箭の如しとか、そのように感じたのは五〇才過ぎからのような気がします。

その頃から寺に寄せて頂き、賢明な先輩のご指導を受け暖かい友情に支えられて心から感謝しております。

さて、私の心に浮かぶ事は瑞泉寺大法要、郡農会主催農村後継者育成公民義塾(西別院二十日間)・中堅同志会・馬産経済調査等多くの思い出に浸ります。永い人生で今最高に嬉々した事は聖徳太子掛軸のお宿をこの十月十日から四十日間させて頂いたことです。

この軸は、京都西陣手織りの技巧の粹を集め、縦糸三千本、緯糸三万八千本、本草木染、48色を使って織り上げた尊像軸で、父君用明天皇の病氣平癒祈願のお姿です。毎日の参詣者と拝み太子様のご遺徳を偲ばせて頂いたことを長寿の果報と感謝しています。

加賀春



ふる里の山に向かひて

いふことなし

ふる里の山は

ありがたきかな(啄木)

新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで、よいお正月をお迎えになられた事と心からお喜び申し上げます。

さて、二一世紀の「南山見」それはどんな姿でどんな顔でしょう。青年の郷土愛で地域の産業が見直されて美しい自然と文化のもとで、住みよい福祉の町であって欲しいと思ひます。祖先が愛した南山見の大寺山・八乙女山にむかいて言うことなしと心も晴れます。

総ての人が共に自由に豊かに、そ

うして、幸せに暮らすことのできる福祉の町を願い、未来に夢を画いて一層ボランティア活動や地域福祉の推進に努めておられると思います。

福祉の発展のため未来に向け最善を尽くしたく存じます。どうかご指導をお願い申し上げます。南山見地区社会福祉協議会

- 会 長 前川 正夫
- 副 会 長 蓮田 久信
- 常 任 理 事 高島 清典
- 企画部会長 林 外吉
- 福祉部会長 田村 一子
- ボランティア部会長 狩野幸夫
- 広報部会長 箭原健二郎
- ケース検討部会長 野村 一郎
- 事務局長 高島 清典
- 役員員一同

◇民生委員児童委員の改選

任期満了により、十二月一日付で次の方が民生児童委員に委嘱されました。南山見地区の福祉相談等に応じられます。

- 院瀬見 長田綾子 ☎ 821-2449
- 東城寺 狩野幸夫 ☎ 821-2302
- 戸板 田村一子 ☎ 821-2346
- 沖 高島清典 ☎ 821-1740

福祉社活動日誌

- 六・二二 福祉カレッジ 森田佳子
- 七・一三 福祉カレッジ 越中屋清信
- 八・一九 金沢市富樫地区社協視察
- 九・八 福祉カレッジ 榊原るみ
- 九・二三 合同ミニ託老所(敬老会)
- 一〇・七 ボランティアもう一人運動
- マーンシ園 井波高等学校参加
- 一〇・二五 福祉カレッジ 佐伯安一
- 一一・二二 南山見文化祭マスケット
- 一一・二四 シンポジウム 遠藤正信
- 一一・二八 ミニ託老所リーダー研修会
- 掘尾欣三 総合病院
- 一二・七 ミニ託老所リーダー研修会
- 今井由起子 マーンシ園
- 宮崎 忍 井波警察署
- 一二・一六 役員会
- 一二・二〇 八〇才歳以上老人へ歳末見舞品を贈呈

祖父父からの教え

井波高校三年

朝倉 加代子

私の祖父は、丁度私が生まれた頃突然中風で倒れ、右半身不随と言語障害を背負いました。

祖母は私に「こんなになる前は福祉活動をようやってはって、町の行事や言うたら何時も行ってはったもんや」と話してくれます。勿論、私はそんな祖父の姿は知りません。

祖父の姿を見ていつも戸惑うばかりでしたが、生活を共にするうちに不自由な体を特別扱いする事もなく、障害を持って居る事を生活の一部にしている祖父をありのままに捉えて行くようになり、そして次第に私は、かって祖父が熱心だった福祉活動に興味を持ち始めるようになりました。

先日、近くでありながら一度も行ったことのない重慶身体障害者授産施設マーシ園を訪れる機

会を得ました。

ここに入所されている方々は、身体的ハンディーに加え精神的負担もあるかと思いますが、それにもめげず、皆さんは毎日訓練を重ね技術を身につけようと必死に頑張っておられます。片手で彫刻し、車椅子でミシンを動かして服を縫い、脳性マヒで手が不自由なのに手袋の袋詰めを行っておられるのです。

十二分すぎるくらい健康な私はその姿を見たとき、本当に頭の下がる思いがしました。

また、数日後マーシ園の納涼祭があると聞き、私は進んで参加しましたが、その夜の光景は、私にとって大変感銘を覚えるものとなりました。

こんな近くに住んでいながら、どうしてこの人達の優しい笑みを知らなかったのだろう。入居者と参加者の方々とのお話に不自然さや隔たりは全くありません。何とすばらしい人間関係なのでしょう。

私の祖父は中風以来、相変わらずあまり外出もせず自分の殻に閉じこもっています。マーシ園での体験は私に、祖父は本当にこのままでよいのかと言う疑問を与えてくれました。

福祉活動とは、身構えて行うものではなく、日常生活のなかでごく自然に当たり前のように行われて行くべきものだと思います。

その為にも、私の祖父のような人がもっともっとオーブンに世の中に自ら出て、また周囲の人もそれをごく自然に受け入れる環境造りが必要だと私は感じています。祖父は私に福祉活動への道案内をしてくれたように思います。

一人で生きられる人間は決していません。誰でも必ず支えというものが必ずあります。私は誰かの心の支えとなれる人でありたいと思います。



平成七年度八乙女福祉カレッジ
第五回 地域の

ふれあい
シンポジウム

去る十一月二十四日八乙女福祉カレッジ総仕上げの最終講座として“めざそう豊かなみらい・南山見”をテーマに、地域のふれあいシンポジウムを開催しました。

プログラム
◎基調講演（七時三十分）

演題「幸せな家庭

づくりをするために」

講師 青少年育成町民会議

常任委員 遠藤 正信氏

◎シンポジウム（八時三十分）

コーディネーター 遠藤 正信氏
シンポジスト

①地域の福祉は身のまわりから

箭原健二郎氏

②叱るとき 叱られるとき

育てるとき

沢田 為次氏

③家庭は傷の痛みを

分かち合うところ

長田 初枝氏

④長寿を喜べる家庭に

明るいま

村松美智子氏

このシンポジウムは、高齢化・少子化が進む中で、地域の魅力や可能性を探りながら知恵を絞りあい、歴史的特性を生かした福祉水準の向上に努め「幸せ・南山見」“お互いに支え合う福祉の町”を合言葉に討論しました。



まず最初に、講師の遠藤先生から実例をもとに「幸せな家庭づくりをするために」と言う演題でお話があり、その後、各シンポジストから各自のテーマについて体験談を中心に意見発表がなされました。また、参加者の皆様方からいろいろな貴重なご意見をいただきました。

いずれのお話も、実際に体験したことを基にした意見発表でしたので、とても有意義でした。

八乙女福祉カレッジも全五回にわたり福祉の問題をテーマに取り組んで参りました。

私達だれもが心豊かに安心して暮らして行くためには、いたわり合い、助け合う地域ぐるみの支えあいが必要かと思えます。

そして、一人ひとりが福祉を自分のこととして考え、自分の体力や置かれている社会的状況など、それぞれの立場に応じ、できることから支援参加して行くことが大切だと思えます。

八乙女福祉カレッジ

「温もりのある地域づくり」

講師 佐伯安一さん

八乙女福祉カレッジが一〇月二五日南山見公民館で開催されました。

講師は砺波市郷土資料館長佐伯安一先生で、温もりのある家庭を旨し「ふる里の生活文化」と題してのご講演を拝聴致しました。先生は民族学にとっても堪能なお方で、砺波地方を始め広く県内の民俗風習を研究なさり、井波町史・



井口村史の民俗編を担当され「富山県の民俗」等の多くの著書を発刊されています。

小さい頃祖母から伝え聞いた年中行事を、正月から大歳まで詳しく資料にもとずき講演になり砺波地方の百足獅子は氷見方面から、二人だて獅子は下新川・婦負郡のネンゴ獅子は越後から伝わった事等、珍しい地方の風習を知り大変勉強になりました。

そうして最近失われつつある信仰心が、昔は祭りの行事にも現れていたことが分かり、この大切な伝統文化を、多く残して暖かい家庭作り、日常生活の中で子供達に伝承して行く大切さをしみじみと感じる今日この頃でございます。

谷 山本綾子

ボランティアもう一人運動

高校生を交え活発に

谷 吉田慶子

マーシ園で一〇月七日ボランティアもう一人運動が催されました。



参加者はボランティアと高校生で八三名、マーシ園生三〇名の言葉があり、続いてボランティア体験発表として「狼と七匹の子山羊」と題して、エプロンの絵の中から子山羊が飛び出す演技を高校生の皆さんが上演して下さいました。

その後二班に分かれてマーシ園生さんの指導で軽作業のお手伝いをしました。作業は軍手の結束袋詰めと電子部品の組み立てでしたが上手にできず園生の方とお話しをしたいと思います。余裕がなくて次の機会のお楽しみとさせていただきます。

心の健康ケア処方 高齢者の立目療法法的 レクリエーション

“頭スッキリおもしろ音楽自主療法”心が落ち着いたり・元気が出たり

1、音楽のくすり

◇効能：…打ち消すことのできない不安や、大切な人との離別など、傷付いた心の痛みを和らげ、解消する効果があります。

◇どこまで効くか？

音楽が人の心と関わりがある以上、医療的效果を否定することはまず出来ないでしょう。しかしどこまで有効かとなれば流動的です。音楽の医療的效果が病気を治す具体的有効性よりも、心身がリラクセスすることで、自己回復力・自己治療能力を促進して、治療効果を促進すると考えられています。

2、音楽療法に楽器の活用

楽器は、個人音楽療法にしても集団音楽療法にしても、まず聴く

視る等感覚的な受動的音楽療法の後に活用することから始めます。

井波町健康と福祉の祭典

十月十四日井波町社会福祉センターで催され次の方が受賞されました。多年のご功績を称えお祝い申し上げます。



▲ 功労者表彰

山崎喜久男 院瀬見三五七
須川ユキエ 東城寺八五
山本 美代 清玄寺一〇
田村 一子 戸板九六
岩崎 保子 今里九一

ミニ託老所

お世託所方研修会

毎月、単位老人クラブごとに町内公民館で開催されているミニ託老所のお世話方研修会をこの程南山見公民館で開催しています。受講をお願ひします。

☆一、二八 講師 堀尾欣三氏
老人の生活とふれあい

☆一、二、七 講師 今井由紀子氏
冬季の健康と食事

☆一、一七 料理実習

この日は、午前十一時に公民館へ一人暮らしの老人各位を、ご招待してボランティアと、ふれあい交流でお楽しみ頂くことにしていきます。昼食は、手作り「ふる里自慢料理」をお召し上がりいただく予定です。

号数	第一〇号
発行	平成8年1月1日
所在	井波町川原崎一五五 南山見公民館
発行者	南山見地区社協

◎読んだら綴りましょう